実現しました!

子どもをまもる!

•みえ子ども医療ダイヤル(#8000)の対応時間拡充
子どもが夜間に体調を崩した際などに医療関係の専門相談員に電話相談できる対応時間を、日曜・祝日において24時間へと拡充。新型コロナとインフルエンザの同時流行への備えにも。

▶相談時間／月～土 19:30～翌朝8:00
日曜・祝日 8:00～翌朝8:00(24時間)

•リトルベビーハンドブックの導入
2022年度内に低体重出生児(1,500g未満)の成長を記録できる冊子を導入し、切れ目のない母子保健サービスを実現。

安心安全の医療と健康長寿に向けて

•救急医療体制の充実(ドクターヘリの広域連携強化)

•がん対策の推進
医療用ウィッグ等の購入費に対し補助(2023年度実施予定)、緩和ケア病床の充実、地域がん登録データの検診への活用

高齢者・障がい者支援

•高齢者等社会福祉施設のBCP(災害時事業継続計画)**策定の推進**

•特殊詐欺対策の推進(貸出用の自動通話録音警告機導入)

•運転免許証の自主返納への環境整備(支援事業所の拡充など)

SDGsを全力で推進!

•食品ロスの削減(福祉×環境)
コロナ禍において厳しい運営状況に陥っていた“子ども食堂”と食品を提供できる企業をマッチングするシステムの導入を実現。

•障がい者の社会参画を推進
2021年に「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」を、2022年には「三重県障がい者スポーツ支援センター」の設置を実現。

•LGBT等の理解啓発と社会環境の整備
「性の多様性を認め合い誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」の制定をリードし、「三重県パートナーシップ宣誓制度」の導入を実現。

子どもを守る・教育

•子ども医療費窓口無料化の推進

•里親制度の推進(フォスタリング機関の設置推進)

•スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充

•インクルーシブ教育の推進(副次的な籍の導入など)

いのちを守る防災・減災対策

•災害時学校支援チーム設置

•若者のICT活用による地域防災活動への参加推進
(学生防災啓発サポーター養成)

山内(やまうち)みちあきは挑戦します!!

●子どもや高齢者の生命と健康を守る県政の実現
- 子ども医療費窓口無料化の更なる推進
- 子どもの発達支援における医療提供体制の充実
- 性暴力被害者支援
- 認知症対策や在宅医療の充実
- ”幸齢社会”に向けたまちづくりの構築

●防災・減災対策の推進
- フェーズフリーで防災力UP
- 流域治水の推進
- 橋や道路の公共インフラの老朽化対策

●障がい者の生活を守る
- 強度行動障がい者への支援
- 親亡き後への支援
- 農福連携の推進
- 生涯教育の推進

●地球温暖化防止対策の更なる推進
- 「グリーンライフポイント制度」の導入
- 県有施設への太陽光発電設置推進(2023年度実施予定)

●平和政策
- SDGsの推進と「人間の安全保障」の確立